

# 大阪の旗

2 7月25

「南大阪の旗」編集委員会 編集局  
連絡先 大阪市西成区東出町四四番地  
野鳥の会 気付 定価三〇円

☆抗議声明

野鳥の会

金ヶ崎不<sup>ト</sup>一 金ヶ崎救援会

☆大衆の参加する自衛組織を作り出せ

☆公の口実より眞実を

11 12 13 14

5月28日

7月8日

10

☆大衆争議について 連載へ

15 16

17 18

11

12

13

☆金ヶ崎暴走の案内

14 15 16

17 18

## 抗議

五 日

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

六月二八日、金ヶ崎に向ひて大名の野村首  
が逮捕され、その際「野鳥の会」事務所も

囚禁警察によて不当に搜查され、その後の  
議ある。

れれれへの強圧は毫もつかず人範いでいる。そもそも事の始まりは、ヤフ下毛師師「鈴木  
久、金ヶ崎は私服警察の群を防じてのじ歩  
き、機動隊のヨコハマへの向はどうか」で  
もじりだしてくる。れれれ林「野鳥の会」は  
二の無謀を断じて許すことはできぬし、二の  
強圧一をはへかたるみへ生ける一へへ裏  
しりし囚禁警察は攻撃のは一矢を最初からげ

(1)

アリビウムが出来た。そこで西田は、アリビウムを

当政府へは歸のむことある、悪徳されまい  
に公安スパート警察は「過激派へ煽動」に方々  
を遣さか之れ。

雨風ノ御文  
一野鳥ノ會上

アタマの頭がズレ  
アタマの頭がズレ  
アタマの頭がズレ  
アタマの頭がズレ

のをよく知っている。直いは極端かつして  
てはいる。一月、六月二日夜、西成雪隠山里  
に説明を受けた。行方不明者の代表五人のう  
ち一人を話し合ひに応じると三階に案内して

がちにから、警備課裏園木某は部室へ力やを  
かけたが前と逮捕状がでていろ」といふ。てM  
色をその場で退捕し、他の囚人を突きとばし

はかで因縁難をうけ、又、身に、口一四十九ぐ八十数の難病苦焉が、因縁難、大限の難へお御神が、此世をへば、

卷之三

一を以てシテハシキシ道ナ源流行西ノ事ハ  
モハ、ア。暴動の一凶ハ責任は西威靈署ナ

金  
峪  
山  
志

三月廿八日

金匱要略

今5月28日朝6時20分頃鎌木組営運木刀行どによろりん千の上、鎌木正八郎は、二二タ一寄り場において鈴木正八郎会長は、二二タ一寄り場において鈴木正八郎会長の胸内首を刃のまへにRし、おへ帰しだ。十時頃大団の警報で舟内面へ襲はり、矢。そし日、全員頭を下げておやまりへ來い、そつて川は船竹百人に対する暴力支配がゆうぞくして叫ば許して止ること。翌29日朝、二二タ一寄り場へへ逆証明でのり、悪あがきくても似ておひで文もじ一人の守護者が連れ立つてようとした、か、幸い仲間へ見えより未遂へ終

26 日本製紙遠坂事業部上の比率大又を每

皆人迫為之此不論不正及鄉村、設木建設變更

名長ではなく暮れ日没萬利天祐金不滿、  
長く変貌して。鉛木建設業は鉛木組の頭位  
の資金源となり、團結が専門者へ設定した

時内争議といつ土俵で争ひるは本からし。僕には成信回復のため、夕を期さぬで急て岡に止回り、千秋や、正シをつけに原内蔵の一人を渠脇前へう手し次二三時回へてゐる所を監禁

二つ。里内は、所の結束をしてかた  
うにも運み、そして參集して所内を名  
が、同日鎌木組に抗議するじつをよいに至  
る。七つ撮りを終り、集会を始めたもの  
アミテニヨンは30秒と競ひ、反。ア  
クを連れて集る専門店へ、まず鎌木正に問う  
不力が署、次、身を離して防衛する専門店は  
然不正に認めて十五秒、次、次に八秒を

(2)

卷之三

連絡可野鳥の事例也

卷之三

卷之三

卷之三

はのほのほい。

、彈圧により以上

一  
はい。

土台へ戻り、

キタ・ノネヌンガ  
ハジルカミヅキ、高

をしていろ」とはで

年間三百人已印

卷之三





感覚を離して此を相手にして、ナント黙り入る  
は極めて一部一筋だけであり、子が四歳頃  
へ時、之に行なうといふへ凡・差し入れ事は立派  
ヒントと肌着だけはいふであら、差し入れ班は  
レヒキをひつ下り豚糞置へ向・Rがそ二でも  
おれは座つたり紙へ一枚も入らはか・K。  
救援センターと連絡へつゝ西麻屋く統議、  
一七〇へ要する受け入れさせ、もう一度回り  
始めて時はもう四時をすこしくて。そして差  
し入れ作すべて完了したのは八時すぎであ  
る。

卷之三

夜、抗議集会、自然発生的抗議で  
代表五名が西成署裏六面会を求めて署内へ  
入ったところ、どのつづり一名では令状が出て  
おりすぐへ執行され、彼は令状がでていら  
二とは全くへ寝耳へ火でも、と。河原はこう  
月23日から末日まで彼は東京へ行、ついで、  
つまり大阪へは居なかつたのである。

何と二泊三日、宿泊料金も一切かからない。父  
お勝浦食堂へ専用席をラチしようとしたので  
ある。ひどいの大きさで何よりも説明で  
取り、乗って行き又車で、5月28日焼かれ正  
門部の口へと同じ泉だ。とある。大。  
夜、西成署前にて抗議集会、令社連鑑一名  
、久々月28日、坂口組暴力事件、大  
日本正義団体連合事件。

急に依頼本多」とは裏腹の話で、工藤が弁護士接見をすることができ、相留請求は通じた。そして相留葉生といつもマサまでつぶらなる。((△△))

此に御正論の件で山下檢事から出しが来て、皆驚く。と化陣人弁護士二名と只く検事へおもむいた。しかし山下檢事の本意は、さんざん待せぬあけくてまつて曰ふことであつた。

そして因へて西留門田。七二時頃叶々一寸

令正之孫二名。陽一名。

此といふは、此の如きに對する事である。そこで目を  
つけられていけるは、何者ほぞれぞの四五名のか  
してマニ付さざ歩ひきぬけ入て、居  
行ではまい、同行はへである。“精勤員”は  
徹底的にマークされいか、將來者は抗議行動  
をやめにしむか、及。

久6月19日レ　セイターハセ抗議集会

久7月1日レ　6月26日レ退職するにはが  
ハ釜本組と慶應本組(3)はもう出で来ていた。  
12月3日、改進が、一々アコニテくる。

8

獄中のヒューチャンに捧げろ

空も日本がけ長朝大時、最愛の女とくわんや、一犯罪者として。

んは音もなく起きる。顔も洗わず、歯もみがかずく、只光の当りはこゝ、奥きん田へいるアバーテー室で、オリヘ、ヌリーパンとよ「出で米軍放出田へ上着を身にくつけ、うそぎてタオルをホケットで押しつけて、サンテスチ、こうり行なはよ」。シノハキ平熙郎を追放せよべ、ナヌ回しておこづかひを追放しようとしてるーと云ふ醫業はすぐくると、田中也哉を飛放しろ、

御内閣總理大臣、内閣總理大臣、内閣總理大臣

「アーティストとして、出来なければならない」ことになるとアーティストとしての言ふべきものもしない。  
——筆千鶴では、当然のことのように、人は人です。難題でもせず、甘面でもせず、アーネスト・モルセイ、アーネスト・モルセイ最後までちゃんとハサウエー。  
——福井シラーレの歌詞、歌詞が人間、人間。  
——。それから批議したことやんぐやられ

大眾の参加する自衛組織をつくりだせ!!

金子の説は、その本質的誤りを改めて示すものである。

國之有司，當以爲急務。若不急圖，則恐後悔無及矣。

西新潟をつゝて川原町、入新潟の参道十三  
人で大通で、レバカツヒロヒロ、田代も藤山四  
市に立つて。西新潟の集田男西新潟  
は、舟出西、人間大根と並んで西新潟とすり  
つぶす。被取駅の北へ可、  
この駅へ向ひて西新潟を出で、西新潟、入新潟、西新潟  
と只く衆の生れ立地の才がやうやく、

(11)

公の口実より眞実を

卷之三

二八日朝、遠浦より。  
彼と私のものにてがスツキリ精算を出た。

五は二八日、彼は“命がおしくは、死<sup>シテ</sup>逃<sup>ハシ</sup>げろ”の必要性がわかつてゐた。そして彼は鈴木組に追ひ逃げた。その二とくついて、よく必配をかけ批判もうけやすらう。

業がどうなるか新聞、じき日本銀行もうすぐ  
か。彼よりも、と、野島の会のメーリング  
にも、とせの原田赳氏が、上にどうぞ御心感  
じてお手へとはうじとうか。彼らの行動は  
編集者ではなく集約ども書つやうにはじだ  
ようか。彼は野島へ会へメーリング田代一  
口い。だから逮捕されたりじよつか。  
ケイセイの原田、公く口裏かづかぬ心を教  
えて下さる。

しかし私は、逃げ出していくついて脱け感覚  
ではない。全てを投げて断つことも  
必要な時にとて逃げることも必要である。  
畢竟彼は私の田舎者として、そして逃げ手。そ  
の彼が何を出来でだろう。  
さああげもほほえぬらしい——もし彼がや

以来、半年ぶりに薬院へ出で、である。  
越冬の準備として私がやしの、日本薬院へ来るのか、何をやめやめたか、という課題を見失いかけていた。看護婦といふ立場から入り易い「薬剤師」を考える限り、この満足していい。  
しかし、やがてそれが遠隔地となり、一つ一つ出来事が、かけ合してつながり、自分の心が、はなれなくて思へた。

治安のことを心配するので、公爵はそれを止めようとしました。しかし、殺人行為、強姦は國へやど、これらの暴力行為にはいかない。私は抗議しました。

田舎者、水戸街道を来たときは何もしなかった人が、不斷に逮捕され、西、ここからとく説かりと最大の恐れを持った西、こちあらじと申す。か。おのとうじとお早く帰しておひがい帰ることなく

親会社へ国光製鋼へは、大阪市庄内区某して出荷する。我々の受け持つ場所は、切断西町ろくあい、スクランバ（古銅）を電気炉で今どき來ればかりの鉄筋を番線で結束するへ入めて溶かし、朱色に溶けた湯を棒状の型（一と、天井クレーンでつり上げて火鑊ばらてへ流し込み、固め、型枠からはずし再度熱してる鉄筋へのワイヤーをはさむした小掛け乙压延機をくぐらせ、鉄筋として生まれたりする仕事である。



がつい上げる。それがバラけついよつて、二ヶ所、三ヶ所で番線で結果するのであ

おぬけはまつたひへん  
一銭も支払はれどか、反。

金の甲冑が落した一本の鉄筋に指をはさむ。金の甲冑は、ハネで鉄筋ぐるめを割り、二針目、又が、王醫師の気力を一気に奪つた。皮アゲニヤー、皮が一枚のくじら。金の甲冑だけ半端でヤナビのあとが断つほかだ。金の甲冑にはトーナーにては弾丸から仕方がないと承認している。又曰を聞かねば手配師からしてもう明白から来はなくてすまないと言ふ。彼の體だと信じて、私は彼へ近寄り、声でアラモンドあからで、体がホーヤで行は。寝ねても流れもれもれんじう見ごくねへんで」と言ふ。どううん、そやほか」と言ふ。では、しまじくして彼が運びこむマメバチのサカナを放棄するには、人間として何の仕事も無むむ。この結果と云ふ。これがアマスコのじん曲、又宣伝で「金崎の筋肉質はおからいして、一般市民もそれをう奇みしくして、金崎の筋肉質をも放棄する」と云ふのであるが、金崎の筋肉質ほど忍耐強く、マメバチの筋肉質は居ない。私は断言しておこう。同時に

この権利である。古は只方の職場に金と物の  
労働者が来て、まじめに何かほしいと聞くので、  
ほり、それは人使いが走らむであり、押取らし。  
押取がひとといふのである。それへ抗議してサ  
トウシコさうのは全く当惑であり理にかけ  
られないことでは守りか。ほしき者ではないのだ。  
病院を出で。早退することを本工で止めると、  
その下級監制は、丁かえめしと一言が、  
古カイしないで歌し。

（略）金を節約する所は、鐵筋と鉄筋の間にはさむべき、何處かの骨を折る所は、大、親会社の国光鑄錠も、少くの所が何でも、こゝの大洋工業も見舞ひ、金の一銭も出さぬから。それで、これが手の権威ある事で、業者達をのませ、注目を引く、業者にて、販賣の如くして、貿本業へ入る事の私手あつて直譲を取っている。

（つづく）

アーヴィングは部を打ひつけて、ハーバードを出て、アーヴィングは  
アーヴィングの前にあらわる大洋の東洋所へ行くと、  
アーヴィングは「しなや」として、長い髪をして、アーヴィング  
アーヴィングが海賊車うねがして自動車とのせ  
アーヴィングへ医者を連れて裁判をふりて、親会

卷之三

暴力手配即刻陣へ只次からへ、警報

權力の彈圧に、不眞面目な痴類、粗鄙な口うりが、大いに見えた。

卷之三

金  
崎  
三  
國  
公  
園  
を  
由  
て  
入

金子ヒラ、SEIHEI、モウ

大會映画会社

卷之三

福島委員会、野鳥の会とも連絡を受け付けています。

二四成僕不虞

◇ 廣大版にて、個人、単大版で活動している人々を複数選出し、その中から(青)